

展示品の
みどころ

み ろく ほ さつ こうきやく ぎ ぞう
彌勒菩薩交脚坐像

銅造 鍍金
総高44.5cm 像高16.7cm
中国 北魏(6世紀)
大阪 藤田美術館



見開いた目にいわゆるアルカイックスマイルを浮かべた面長の顔、長い頸に手足が大きく細身のプロポーション。そして両脚をX字に組んで坐る奇妙な姿勢。体にかかる衣はペーパークラフトのようだ。あらゆる表現が一般的な仏像らしくない。さらに、この像は、一本足の鳥の上に乗っている。この像は何菩薩であろうか。かつて孔雀明王と呼ばれていたという。しかし、この鳥はもともと像本体と別物だったようだ。

三段になった台座には、僧侶、力士らしき人物、亀が取り付けられ、側面には透彫で動物や植物を表している。台座の背面に銘文が陰刻され「大魏神亀元年三月…曲陽…交脚弥勒…」とあり、中国の北魏・神亀元年(518)、現在の河北省曲陽の地域で発願された交脚弥勒像と考えられる。しかし、像本体の柄と台座上面の柄穴は形が合わず、像本体と台座の間に別の部品があったにせよ、像本体と台座が本来一具であったのかはわからない。

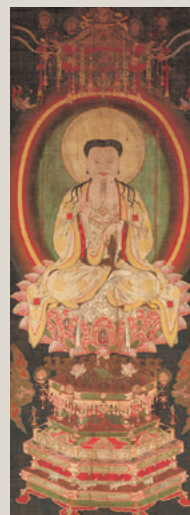
56億7000万年後の未来に、この世に下生するべく兜率天という天上世界に住まう彌勒菩薩は、中国では5世紀から6世紀にかけて、脚をX字に組んだ交脚菩薩の姿で表される。一説に西アジアから中央アジアにかけての地域における王者像のポーズだという。人々は、来世には、彌勒菩薩のいる兜率天に生まれ変わりたいと願って、仏像を造り、思いを託した。仏像らしくないと述べた中国風の強い漢式仏像の典型で、中国・北魏の金銅仏を代表する優品である。

岩井 共二(当館学芸部情報サービス室長)

◆4月13日～6月9日 特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」にて展示

じ ぞう ほ さつ ぞう (マニ像)
地蔵菩薩像(マニ像)

絹本着色
縦183.3cm 横67.5cm
中国 元～明(14世紀)
大阪 藤田美術館



地蔵菩薩の名で伝来するが、実際は中国で描かれた「マニ」の像である。マニはマニ教の祖で、3世紀に古代イランのバルティア帝国下で生まれ教を伝えた。

その教えは唐代には中国へも伝えられ、宋元期には福建などの南方地域を拠点として江南へ広がった。

近年の世界的なマニ教研究の進展に伴い、日本に仏教絵画などとして伝来する中国絵画のなかに、世界的に極めて僅少なマニ教信仰の絵画がいくつも存在することが順次確認され、脚光を浴びている。こうした動向のなか本図についても、昭和12年に雑誌『國華』に掲載されたモノクロ図版から、マニ像であることが指摘されている。

台座の型式など一見して仏教絵画の型式を借用するが、衣の両肩と両膝に表された赤い四角形が最も分かりやすいマニのしるしである。これはセグメンタと呼ばれ、通常はこの四角のなかに顔形を表す。加えて、髪形や手の動き、卵形の光背、衣の色、足先の衣の処理等についても、ほかのマニ像とよく一致する。江南地域でマニ教の礼拝画として描かれた絵画が、何らかの経緯で仏教絵画として日本に伝えられたと考えられる。

カラー図版の公開、藤田美術館外での展示とも今回が初めてのこととなる。

北澤 菜月(当館学芸部主任研究員)

◆4月13日～5月12日 特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」にて展示

開館日時(4月～6月)

■開館時間／午前9時30分～午後5時

・ただし、金曜日の特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」は午後7時まで、金・土曜日の名品展は午後8時まで。

※入館は開館の30分前まで

■休館日／毎週月曜日

・ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)は開館し、5月7日(火)は休館。

■無料観覧日(名品展のみ)／5月1日(水・祝)、5月18日(土)(国際博物館の日)

※5月1日(水・祝)は、天皇陛下の御即位を慶祝し、名品展は無料でご観覧いただけます。

※特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」は別途料金が必要となります。

■観覧料金 特別展「国宝の殿堂 藤田美術館展」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,500円	1,000円	500円
団体・前売	1,300円	800円	300円

※団体は20名以上です。 ※前売券の販売は4月12日(金)までです。

※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生の方は当日券を400円でお求めいただけます。

※この料金で、名品展(なら仏像館 青銅器館)も観覧できます。

■観覧料金 名品展・特別陳列

	一般	大学生	高校生以下
個人	520円	260円	無料
団体	410円	210円	無料

※団体は20名以上です。

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。

※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生の方は無料です。

※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は、団体料金を適用します。



[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。